



# No Book No Life

No.2 / 2022年5月

今回は図書委員のおすすめ本と、転任した先生のおすすめ本紹介を行います。

面白くてためになる本が沢山あるので是非読んでみてください！

## 図書委員のおすすめ本紹介

### 漫画『キングダム』 原 泰久

古代中国、春秋戦国時代の末期の戦国七雄(秦, 楚, 齊, 燕, 趙, 魏, 韓)の時代を舞台とした物語で、中華統一を目指す秦王を支える主人公信の成長が描かれた物語です。信が様々な困難を切り抜けて成長してゆく様子や、信と仲間たちとの間で絆が深まってゆく様子、信の正義感と明るさにあふれたキャラクター等を楽しめる他、世界史の勉強にもなるのでおすすめです。また、孔子は春秋戦国時代前期の思想家で、その他この時代に活躍した諸子百家は漢文にも多く登場します。今年の夏には映画の第二弾の公開も予定されています。是非読んでみてください！

(高崎高校図書館には現在、単行本が1巻～64巻まであります。)

※コミックスの貸し出しは一度に3冊、3日間まで

## 転任された先生のおすすめ本紹介 (第二弾)

### 理科 金谷 学 先生

『「量子革命」: アインシュタインとボーア、偉大なる頭脳の激突』(新潮文庫)

マンジット クマール (著) 青木 薫 (翻訳)

1900年に放射線の不可思議な現象を説明するため、M・プランクが考案した「量子」という概念。それは19世紀のニュートン力学を覆し、新しい視野で世界を見つめるための武器になった。量子力学の解釈をめぐるアインシュタインとボーアの論争を軸に、ハイゼンベルク、ド・ブローイ、シュレーディンガーなど、天才物理学者たちの人間味あふれるドラマが描かれている。物理の理論や考え方が、苦難を乗り越え、やっとの思いで紡ぎ出されたことが分かる一冊。是非、ご一読を。

## 理科 飯野 道彦 先生

『世界史と時事ニュースが同時にわかる 新 地政学(だからわかるシリーズ)』(朝日新聞出版)  
祝田 秀全(監修) 長谷川 敦(著)

ロシアによるウクライナ侵攻が始まった頃、世界の国々の関係が気になり、見つけた本。説明は簡潔で、図や写真も多く使われており読みやすい、世界の歴史と国際情勢をともに知れる一冊です。グローバル化が加速していく中、世界各国の人と触れ合う機会は格段に増えていきます。英語などのコミュニケーションツールも大事ですが、その人の(国の)背景を心得て接することが肝心です。未来の創造者であるみなさんには、世界を熟知し、国際的な活躍を期待しています。

## 英語 横田 謙人 先生

『池上彰の世界の見方』(小学館) 池上彰(著)

今、世界中から様々なニュースがもたらされます。しかしその背景にあることを知らなければ、きちんと理解できないことも多いです。今起きていること、そしてこれから起こることを、グローバル化した世界の中で、お互いを理解しながら生きていくために、知っておきたいことを池上彰氏がわかりやすい表現でまとめています。巻数は多いですが、様々なことの基礎となるはずですよ。

## 保健体育 高島 喜美夫 先生

『人生の勝負は、朝で決まる。』(Gakken) 千田 琢哉(著)

4月から毎朝6時に家を出て、7時に高高に着くという生活が始まりました。この貴重な朝時間に何をしようかと模索している中で辿り着いた一冊です。この本には仕事、勉強、人間関係、恋愛に至るまで「結果を出す人が続けている52の朝の習慣」が書かれています。若者にとって、とかく疎かにされがちな朝時間ですが、文武両道の実践・堅持・体得を目指す高高生は、毎朝をどのように過ごし、どう活かすかが重要なのかもしれません。

**今年度の「転任した先生のおすすめ本」は次回で最終回です！**

**次回もご期待ください！**

(編集：3708 生方)